



ヤクルトサポートビジネス株式会社



事業概要 : ヤクルトグループ業務の事務受託事業
従業員数 : 102名（2025年4月1日現在）
実施部署 : 東日本事務センター
部署障害者数 : 2名（身体障害者1名・精神障害者1名）

開催日

令和7年11月14日

受講
人数対面 33名
オンライン 29名

■ 講座内容

- ① 障害者雇用の現状と考え方
- ② 業務切り出しのポイント
- ③ 障害種別の特性に合わせた指導・配慮ポイント
- ④ わかりやすい業務指示とは
- ⑤ 合理的配慮と適切な指導・コミュニケーションとは

きっかけ

当センターには2名の障がいがある社員がおり、うち1名は精神障がいの短時間在宅勤務で月2回の出社です。当センターは昨年から今年にかけ健常者の正社員の中途採用をしており、中には障がい者雇用自体を知らない社員もいるため、啓発・理解のために講座を申し込みました。

課内の障がい者メンバーへの新業務切り出しのポイントの見直しことができました。業務依頼が続くように、可能な仕事内容や必要な準備を説明するヒントを得ました（総務課 職員）。つい健常者と同じ目線で見えてしまいがちでしたが、配慮が必要な点や障がい特性を分かりやすく学ぶことができました（事務課 職員）。

感想

今後多くの部門で障がいがある社員が活躍する場を作ることができたら良いと思います。入社前の職場実習が必要不可欠だと感じました。（総務課 職員）。職場のルールは守ってもらいつつ、障がい特性を強みにしてもらえよう、自分たちも一緒に働いていきたいと思います（業務課 職員）。

これから

■ テキスト

